

パラオ共和国コロール州の脱炭素都市形成と コ・ベネフィット実現に向けた都市間連携事業

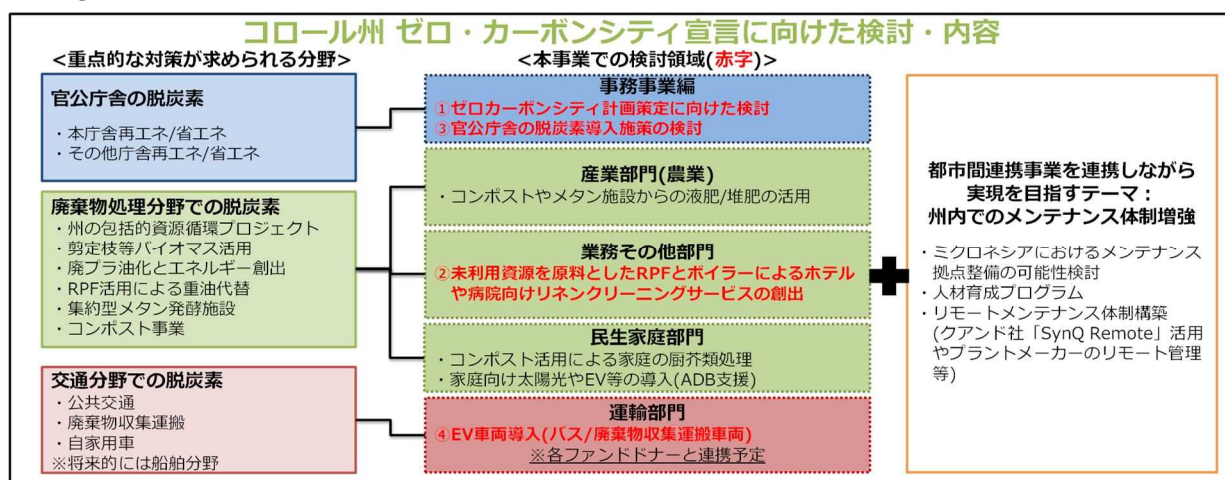
1 実施者

北九州市、(株)ATGREEN、(株)EV モーターズ・ジャパン、アマタホールディングス(株)、(株)クアンド、(株)イクロス

2 事業概要

パラオ共和国コロール州におけるゼロ・カーボンシティ計画形成に向けた以下4つの調査・検討・支援を実施する

- ① コロール州のゼロ・カーボンシティ宣言に向けた現状把握及び計画検討
- ② 未利用資源を原料とした RPF の活用による脱炭素とコ・ベネフィット創出に向けたボイラー導入可能性調査
- ③ 州官公庁舎における再生可能エネルギー、省エネルギー設備導入検討調査
- ④ EV バス・EV パッカー車導入のための資金獲得に向けたフォローアップ実施



3 パラオ共和国コロール州について



【パラオ共和国】

- ・首都：マルキョク(2006年コロールから遷都)
- ・人口：18,092人(2022年/世界銀行調べ)
- ・面積：488km²
- ・観光立国としてピークの2015年の観光客数は約16万4千人(うち日本人観光客数は約3万1千人)。新型コロナウイルス禍により大きく減少したが、2022年以降回復基調。

【コロール州】

- ・総人口の7割が居住する経済、文化の中心地